


## 第2回

# さかもと未明マンガ賞 講評

今回もまんが賞に沢山の作品を応募してくださり、本当に嬉しく、心から感謝申し上げます。今年はコロナという大変厳しい時代の真ただ中になりましたが、そんな時にも、まんがと真剣に向き合って下さったことに敬意を表したいです。では早速、審査結果にまいります。



さかもと未明マンガ賞 大賞  
棚野「愛の敵討ち」

とにかく表現力には大絶賛です。でもでも、私はおばあさんの首が落ちるシーンで「え(+\_+) 。…?そこまでする??」と、読む手が止まってしまい、しばらくその先が読めませんでした。思い直してページをめくると、まさかの展開と結びに拍手!! 完全にいち読者として『どうなっちゃうの……?』とドキドキできた作品です。本当は怖い昔話的なテーマもgood!! タヌキさんは、、、殺されて食べられちゃって、改心の機会もなかったわけですが、一回、人を殺めているし、ま、いっか! 「命の重み」がゼロなところが気になるといえば気になります。まあ漫画だしね。面白いから、よし、ということにしましょう(´▽`)。でもタヌキとはいえ、ただ殺してしまうには惜しい存在なので、後々は、生き返らせて改心させるとか、ただ殺して終わりとはしないで、続きを是非読ませてくださいね。

## さかもと未明漫画賞 優秀賞 HA「新しい家族」



とにかく面白かった!1

このおっさん入っている文鳥? カナリヤ? わかんないけど、見た目のかわいさと、反応のギャップがたまりません。印象が一番強く本気で楽しめたので、一枚で終わらせないで、何ページか描いてほしかった。続きを是非読ませてくださいね。このキャラクター「ピーちゃん」は最高な存在ですから!

### 総評

『みんな、もっとたくさんの漫画を描いてくださいね』、今回、全体を通して思ったのはそれです。ほとんどが四コマだったけど、正直、「ストーリーを描くのは締め切りに間に合わないかな? 四コマならなんとか提出できるかな?」と、安直に4コマを選んでいる方が多い気がしました(笑)。

あのね。四コマは実は難易度が一番高い漫画なの。一ページあたりの密度も濃いし、言いたいことをはっきり伝えて、起承転結がきちんと作れる力がないと面白い作品になりません。勿論「落ちナシ四コマ」というジャンルもありますが、かなりの変化球なので、基本を身につけたうえで、挑んでほしい。逆に言えば、ものすごく勉強になるジャンルです。

今回も応募が多かったのは素晴らしいことなので、次は「ストーリーが間に合わないからあわてて仕上げた作品」でなく、「沢山描いて選ぶのに困ったけど、自分が最高だと思える一枚」を読ませてください。普段から鍛錬している人は面白いものが必ず描けるようになりますから。頑張つて!!

あのね、私はもう50代です。みんなより30年も年上で。しかも難病になって一度死にかけたりいろいろあって、残された時間はあまりないと思っています。毎日がすごく大切に、描ける時間と体力の限り描きたいと思っています。

ただ、その真剣さをみんなに求めるのはムリがあると自分でも思います。私はかなり特殊。みんながそこまで切羽詰まって生きる必要なんてないものね（笑）

でも、今回は私もみんなに勇気をもらいました。つまり、「私はオバサンだけどみんなと同じくらい、パワフルな作品を生み出すチャンスはある」という事。私は年はとっているけど、真剣度が違う。みんなは一杯可能性があるけど。まだ目的意識や意志の力が足りない。「だから人生はみんなにフェアに、可能性を開いてくれる」と思ったんです。でも、私なんかには負けないでほしいの。私は、「もう叶わない、素晴らしい次世代が出てきた!」という作品に出会いたくて、私はこの漫画賞の選考をさせていただいているので!

時のたつのはあっという間。時間は待ってられません。将来「あの時もっと描いておけば」と思っても遅いです。才能があるかどうかなんて考えるより、どうしても書きたいものがあって描き続けられる人だけが、作家や漫画家になれるのです。

勿論、プロになるだけが道ではありません。普通に就職をして一生懸命働いて、趣味として、子供に見せたり、地域や学校のちょっとした印刷物などに手書きの漫画を載せてみんなを喜ばすとか、、、。それだって、和洋で漫画を学んだ意味はあるよね。自分の人生も人の気持ちも豊かにできたら、それは素晴らしいことです。

でも、「もし絵や創作を仕事にしたいなら、もうちょっと頑張らないと、なれないよ!」というのが、正直な思いでした。可能性に溢れている皆さんが、「何となく」作品を作っているように見え、私にはもったいなく思いました。みんな、磨けば光る才能の片鱗を持っているのに!!!

ダイヤモンドも掘り起こして丁寧に磨かないと、ただの石です。皆さんが、うずもれたままの石でいるか、何らかの輝きを放つ存在になるか。それは皆さんのこれからの時間の使い方と、目標の持ち方でいくらでも変わります。そんなことを考えて、また次の賞に応募してくれたら、とてもうれしいです。皆さん、是非素敵な未来を作ってくださいね。

大学で漫画を専攻したからと言って、かならずしもプロがゴールではありません。皆さんが幸せになり、周りの人を幸せにしてゆくことが一番大切。漫画は、人生の隙間を埋めて、豊かにするためにあるのでも十分なのだと思います。それでも、漫画が、少しでも皆さんの日常を潤いのあるものにしてくれたら、とてもうれしいと思います。漫画は色んな意味で素晴らしい表現手段なので、是非これからも描き続けてくださいね。

最後に改めて、「第二回さかもと未明マンガ賞」に応募してくれて本当にありがとう、すてきな作品を読めて、とても嬉しかった。心からの感謝をお伝えしたいです。本来でしたら第1回の時と同じように、受賞した皆さんには直接賞状をお渡ししたかったし、記念写真も撮りたかったし、ご希望があればハグしたかった——！

ただ、今はコロナでこんな世の中なので、この手紙を書くことにしました。最後になりますが、今回も作品の募集やまとめなどにご尽力いただいた和洋女子大学、人文学部日本文学文化学科文化芸術専攻の先生方に心から感謝申し上げます。

皆さんの未来が、ますます輝かしいものになりますように、、、コロナになんか負けないで、頑張りましょうね、みんな元気で、、、！そしてまた逢いましょう。

さかもと未明  
2021. 3. 11

